

### Ⅲ. 各種機関との交流

#### 1. 1 地域連携活動

本取組は、河北潟周辺の地域住民をはじめとして関連 NPO 団体，企業，および本校と連携に関する協定を結んでいる津幡町を始めとする地方自治体と連携をとりながら、教育として河北潟浄化活動を実践するものである。その一環として行った地域連携活動を以下に記す。

##### ◆ 内灘町と連携協力提携 ◆

内灘町は、石川高専と同じ河北郡に位置する隣町で、今回の協定は、教育研究を始め、環境やまちづくり等の諸分野で互いに連携協力し、広く地域社会の発展に資することが目的である。双方の関係者が出席する中、平成 20 年 5 月 20 日に内灘町役場で調印式を行い、八十出内灘町長と金岡校長が協定書に署名・押印した。

今後は、河北潟の水質浄化等環境改善に関する取り組みのほか、風力発電施設を使った雷エネルギー研究や町が行う環境学習に本校教員を派遣する等、相互に協力しながら各種の事業を実施してゆく。



##### ◆ 金沢市と連携協力提携 ◆

平成21年3月27日、石川高専は金沢市と、地域振興や教育、人材育成などに寄与することを目的として連携協力に関する協定を締結した。金沢市役所において行われた締結式では、本校金岡校長と山出金沢市長が協定書に署名した。



今後、教育や人材の育成・交流に関すること、ものづくり施策に関すること、環境保全に関すること、歴史伝統文化の保全・継承に関すること、コミュニティ活動に関すること等について、連絡推進会議を設置して取り組んでいく予定である。

◆ 「河北潟夢教室」－河北潟の水を利用した環境教育プロジェクト－ ◆

連携協定を結んだ内灘町と本校とは5月24日、初の合同企画「環境教育プロジェクト」  
として、内灘町役場前庭で「河北潟の水質浄化実験用の池づくり」を実施した。



イベントには、内灘町の小中学生や水質ボランティアのほか、本校専攻科1年生らが「河北潟美し隊」として参加し、池の汚泥や落ち葉などを取り除くとともに、汚れた玉砂利をきれいに洗浄し、清掃後の池には河北潟から運び込んだ水を張って潟に似せた環境を作った。さらに、電気工学科が製作したソー

ラーパネルと噴水器を設置して、水中に酸素を送り込みながら、微生物の活動が汚れの分解を促すような仕組みを整備した。

作業を終えた小中学生ら参加者は、第1回のCOD（化学的酸素要求量）計測をし「どのくらい浄化されてきれいになるか楽しみ」と実験効果に期待を膨らませていた。小学生らが当番で浄化の過程を観察していく。



平成20年5月24日 内灘町役場前庭の人工池を実験場に転用

6月22日 実験池のCOD調査と顕微鏡観察

7月12日 専攻科生による出前授業「太陽光発電、水車工作など」

◆ その他の連携活動 ◆

平成20年8月 内灘町 蓮湖なぎさ公園計画に参画

9月23日 「いしかわまんなか祭り in 河北潟」に現代GPとして出店

10月25日 シティカレッジ石川にて講演

「ESD (Education for Sustainable Development) 持続発展教育」

10月26日 河北潟営農公社

「河北潟ふるさとづくり協議会」参加

11月30日 内灘町連合女性会「町民フォーラム」に参加

12月20日 北陸先端大学にて講演

「地域の高専と教育の協業を目指して」

平成 21 年 4 月 24 日 平成 21 年度地球環境基金事業に関する会議

5 月 15 日 中部日本海城高等専門学校会議

5 月 18 日 FMかほく「ラブラブかほくがた」出演

5 月 23 日 ケーブルテレビ（放送日）

8 月 9 日 大学コンソーシアム石川にて ESD 講演

8 月 30 日 「いしかわまんなか祭り in河北潟」に現代GPとして出店

10 月 19 日～21 日 ASPIRE 2009（台湾）に参加

平成22年 1 月 7 日～8 日 大学教育改革プログラム合同フォーラムに出展

2 月 6 日 河北潟水質浄化連絡協議会「河北潟のお話会」こなん水辺公園

講演「河北潟の水」

体験教室「河北潟の水を調べよう」

平成22年度予定

ユネスコスクールへの加盟（予定）